

環境分野 政策 2 「持続可能な循環型社会の形成」

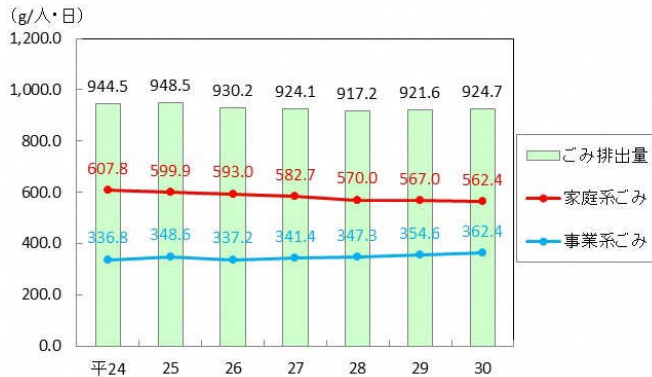
目指す姿

資源が有効に活用された持続可能な循環型社会が実現している。

【現状と課題】

- 本市が実施した市民アンケート（平成 29 年 6 月実施）によると、ごみの減量化に取り組む市民の割合が高くなっています。また、国は、リデュース、リユースの取組がより進む社会経済システムの構築を目指し、シェアリング等の 2 R 型ビジネスモデルの普及に取り組んでいます。
- 本市では、ごみの減量と資源化率の向上を目指し、ごみの適正な分別排出に向けて取り組んでいますが、可燃ごみに未開封の食品やプラスチック製容器包装等の資源物が混入する事例が発生しており、今後とも継続した取組が必要となっています。
- 本市では、家庭系ごみの排出量が年々減少傾向となっている一方で、ごみ焼却施設の老朽化が課題となっています。
- 高齢化の進行や核家族化、地域のつながりの希薄化に伴い、ごみ出しが困難となる高齢者等の増加が懸念されており、ステーション方式によるごみ収集に加えて、新たなごみ収集方法の検討が求められています。
- 国内では、廃棄物の不法投棄や不適正保管等の悪質な事例が発覚しており、本市においても監視パトロールを強化しています。また、国は、産業廃棄物の適正処理のさらなる推進を目指し、電子マニフェストの普及拡大等に取り組んでいます。
- 近年、マイクロプラスチックを含む海洋ごみによる海洋汚染が深刻化しており、漂着ごみの処理問題や漁業活動への悪影響等が懸念されています。

※関連データ：1人1日当たりのごみ排出量の推移



(資料) 姫路市「姫路市一般廃棄物処理基本計画」より作成

【目指す姿を実現するための方向性】

人 地 域	ア 資源循環と適正処理の担い手の確保 ごみの分別排出や資源物の回収活動に取り組む地域団体等への支援をはじめ、排出者や廃棄物処理業者に対する指導の強化や優良な廃棄物処理業者が評価される仕組みの構築などを通じて、資源循環と適正処理の担い手を確保します。
	イ 3R (リデュース、リユース、リサイクル) の推進 製品の生産から廃棄までのライフサイクル全体で、資源を無駄なく有効に活用するため、食品ロス削減や海洋ごみの原因となる廃プラスチック類の排出抑制等による廃棄物の発生抑制をはじめ、リユース市場の活性化等を通じた廃棄物の再使用や、分別排出の徹底による廃棄物の再生利用を促進します。
活 力	ウ 安定した廃棄物処理システムの構築 高齢者や障害者など、ごみの排出が困難な人の増加に対応した収集運搬体制の整備をはじめ、ごみ処理施設の老朽化対策や新たなごみ処理施設の整備に向けた取組を進めるとともに、不法投棄や不適正処理に対する監視活動など、ごみの排出から処理までのごみ処理フローが安定して機能し、発生した廃棄物を適正に処理できるシステムを構築します。
	エ 災害廃棄物の処理体制の確保 災害に対する事前の備えとして、廃棄物処理施設の強靱化を進めるとともに、廃棄物処理業者や関係機関と災害の規模に応じた連携体制を構築するなど、災害廃棄物を適正かつ迅速に処理できる体制を確保します。
土 台	

市民、地域コミュニティ、企業・団体に期待すること

市 民	➤ ごみの発生抑制や再使用、再生利用に向けた取組を実践しましょう。
地 域 コ ミ ュ ニ ティ	➤ ごみの分別排出や資源物回収活動に積極的に取り組みましょう。
企 業 ・ 団 体	➤ 事業系ごみの減量化や資源化、適正処理に努めましょう。 ➤ 資源の有効活用に向け、モノ・サービスを、必要な人に、必要な時、必要なだけ提供するように努めましょう。